

浜田市立学校 AI 型デジタルドリル導入業務委託事業者選定 公募型プロポーザルに係る質問に対する回答について

(回答日 令和 7 年 4 月 28 日)

質問項目 (実施要領や業務仕様書 のページ・項目等)	質問内容	回答
実施要領 9 企画提案書等のプロポーザル審査（プレゼンテーション）	プロポーザル当日審査について 3 名の参加者が対面とオンライン混在して参加することは可能でしょうか。	可能です。
実施要領 12 契約方法	本プロポーザル審査結果により決定した契約候補者と協議し、市と契約候補者の両者が合意に至った後、契約を締結する。とありますが、クラウドサービスの性質上、一般的な利用規約を定めております。受託候補者に選出された場合は、選定結果に影響のない範囲で契約内容についてご相談（利用規約の反映）をさせていただける余地はありますでしょうか。	あります。
仕様書 3 対象	見積積算上、必要になるので小学校 1～6 年生の各学年の概算児童・生徒数をご教示いただけますでしょうか。	浜田市内の市立小中学校の各学年の児童生徒数は以下のとおりです。（令和 7 年 4 月 1 日時点） 小学 1 年生 321 人 小学 2 年生 365 人 小学 3 年生 368 人 小学 4 年生 382 人

質問項目 (実施要領や業務仕様書 のページ・項目等)	質問内容	回答
		小学5年生 389人 小学6年生 384人 小学生合計 2,209人 中学1年生 369人 中学2年生 399人 中学3年生 423人 中学生合計 1,191人
仕様書 6 機能要件 出題範囲 2.10	AIを活用した誤答に基づく出題がされること。とあります が、 AI機能について下記のように整理しており、「AI型ドリル」 ではなく「AIドリル」の機能であると認識しておりますがよ ろしいでしょうか。 「AIドリル」…児童生徒の正誤の傾向等をドリルが都度検 討し、以降の出題を判断する機能を有するもの。 「AI型ドリル等」…児童生徒の回答の正誤の別により、あら かじめ遷移する問題が紐づけられているものは想定してい ません。	お見込みのとおりです。 児童生徒一人一人の「個別最適な学び」を推進するこ とにより、学力向上を図ることを目的としています。 AIが児童生徒の認知度を自ら判断して出題する機能 を想定しており、回答の正誤の別により、あらかじめ 遷移する問題が紐づけられているものは想定してい ません。

質問項目 (実施要領や業務仕様書 のページ・項目等)	質問内容	回答
仕様書 6 機能要件 出題範囲 2.13	単元確認テスト機能を有すること。とありますが、受験者の公平性を保つため一斉開始や一斉終了の機能を有することが必要という認識をしておりますがよろしいでしょうか。	単元確認テスト機能において、一斉開始及び一斉終了の機能を有することは必須としていません。
実施要領 2 業務の概要 (3) 業務期間	契約締結の日から令和8年3月31日（火）まで 上記内容について、契約締結は何月を予定していますか。 もしくは学校での利用開始は何月を予定していますか。 金額見積もりに当たり必要な情報としてお伺いしたく思います。	契約締結は令和7年6月中旬から6月下旬を想定しています。 また、学校での利用開始は契約後速やかに行い、児童生徒の夏季休業中の家庭学習に活用することを想定しています。